

併シコノ猛烈ナテヨルニモ拘ハラズ、労働者運動ノ衰退ガ見ラレナイ  
バカリデハナク、反對ニ反〇〇主義的氣分ノ成長、日本プロレタリア  
トノ益々廣汎ナ大衆ノ革命化、ストライキノ強化、労働者階級ノ反  
戰行動ノ展開ガ見ラレル。吾々ノ學識ニ達シタ斷片的ナ報道デサヘモ  
日本帝國主義ノ強盜戰爭ニ對スル労働者大衆ノ闘争ガ不斷ニ發展シテ  
キル有様ヲ描キ出シテキル。

例ヘバ、新聞ハ次ノ事ヲ報道シタ、即チ昨年九月末軍事經營ノ最大  
ノ中心地ト東京ト横濱トニ於ケル労働者ノ闘争ヲ、開始サレタ帝國主  
義戰爭反對ノ大衆闘争ノ軌道ニ導クタメニ、金屬労働組合及ビ化學勞  
働組合ノ各支部ヲ先頭トシテ、東京横濱ノ工業地方ノ左翼的大衆組織  
ノ會議ガ開カレタ。第三ノ事業キコノ當時ノコトデアツタ。官憲ハ立  
石及ビ山田絹織物工場ノ過勞労働者ニヨツテ準備サレタ反戰デモヲ三  
十人ノ労働者ヲ逮捕スルコトニヤツテ防グ事ガ出来タノデアツタ。  
更ニ十月五日ニハ東京ノ市電車庫、變電所、鐵道工場、煙草工場ノ工

代會議、又十月六日ニハ一化學工場、一金屬工場、一藥品工場、一工  
ム工場、一毛織物工場、一印刷所、及ビニヶ所ノ職業紹介所ノ工代會  
議ガ「滿蒙戰爭反對」、「滿洲ト中國カラ手ヲ引ケ」、「日本ノ帝國  
主義政府打倒」、「軍事上デ失業者ヲ救済シ」等々ノスローガンノ下  
ニ開カレタ。

更ニ新聞ハ、十月初メ和歌山市ノ染色工場ノ労働者ガ反戰ビラヲ撒  
イタト報ジテキル。又青森縣デハ反戰的スローガンノ下ニ鐵道工場ニ  
於テ職場大會ガ持タレ、二ツノ工場ト三ツノ印刷所ノ工代會議ガ開カ  
レタ。十月半バ戰爭ノ爲ニ作業シテキル東京附近ノ一飛行工場デス  
トライキガ爆發シタ。東京デハ十一月二十八日ニ七經營ノ過勞労働者  
ガ共同ストライキ委員會ノ指導ノ下ニ「帝國主義戰爭反對」、「首領反  
對」等ノスローガンヲ掲ゲテ共同ノデモヲ組織シタ。十二月十二日東  
京ノ十二瀧子工場ト二ツノ失業者組織トノ代表者會議ニ於テ帝國主義  
戰爭反對、中國トサツエート同視擁護ノ決議ガ採用サレタ。帝國主義